

科目名 (科目番号)		応用栄養学Ⅰ (時間割参照)	教員名 増野弥生	学科等	保健栄養	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	講義	オフィスアワー	講義時間の前後	
授業概要		ヒトの一生における各々の段階(ライフステージ)の身体状況や栄養状態に応じた栄養管理(栄養マネジメント)の考え方、ライフステージごとの生理的特徴、栄養状態の変化、栄養アセスメント、栄養と病態・疾患、生活習慣、栄養ケアのあり方を理解する。特に応用栄養学Ⅰでは、ライフステージのうち妊娠・分娩・授乳期における母性栄養、成長・発達過程にある新生児期・乳児期・幼児期・及び学童期の特徴と栄養管理について学習する。						
目的・目標		目的:ライフステージのうち妊娠・分娩・授乳期における母性栄養、成長・発達過程にある新生児期・乳児期・幼児期・及び学童期の特徴と栄養管理について理解することができる。目標:身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方を理解する。妊娠・分娩・授乳期における母性栄養、成長・発達過程にある新生児期・乳児期・幼児期・及び学童期の特徴と具体的な栄養管理の手順・方法を理解し基本的な考え方を学ぶ。						
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容				
	1	栄養ケアマネジメントの概念		到達目標:栄養ケアマネジメントの概念を理解する。 学習内容:栄養マネジメントの定義について学習する。				
	2	栄養ケアマネジメントの概要		到達目標:栄養ケアマネジメントの概要を理解する。 学習内容:栄養アセスメント、スクリーニング、モニタリング、評価について学習する。				
	3	日本人の食事摂取基準(2020年版)		到達目標:ライフステージ別の日本人の食事摂取基準(2025年版)を理解する。 学習内容:策定の基本的事項と留意事項、活用に関する基本的事項、エネルギー・栄養素別食事摂取基準、対象特性、生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連について学習する。				
	4	発育・発達・加齢		到達目標:成長・発達・加齢の概念について理解する。 学習内容:成長・発達・加齢の変化について学習する。				
	5	妊娠期、授乳期の栄養1		到達目標:妊娠期の生理的特徴を理解する。 学習内容:妊娠の成立・維持、胎児の成長、母体の生理的変化について学習する。				
	6	妊娠期、授乳期の栄養2		到達目標:授乳期の生理的特徴を理解する。 学習内容:乳汁分泌の機序、初乳、成乳について学習する。				
	7	妊娠期、授乳期の栄養3		到達目標:妊娠期、授乳期の栄養ケア・マネジメントを理解する。 学習内容:やせと肥満、貧血、妊娠悪阻、妊娠糖尿病について学習する。				
	8	妊娠期、授乳期の栄養4		到達目標:妊娠期、授乳期の栄養ケア・マネジメントを理解する。 学習内容:妊娠高血圧症候群、神経管閉鎖障害、妊娠前から始める妊産婦のための食生活指針について学習する。				
	9	新生児期、乳児期の栄養1		到達目標:新生児期・乳児期の生理的特徴を理解する。 学習内容:出生体重による分類、体内水分量、呼吸器系、循環器系体温調節、腎機能、摂食機能、消化機能、血液・免疫系について学習する。				
	10	新生児期、乳児期の栄養2		到達目標:新生児期、乳児期の栄養ケア・マネジメントを理解する。 学習内容:母乳性黄疸、乳児ビタミンK欠乏性出血症、貧血、乳児下痢症と便秘など、授乳・離乳の支援ガイドについて学習する。				
	11	幼児期の栄養1		到達目標:幼児期の生理的特徴を理解する。 学習内容:乳児期の身体の特徴、生理機能、摂食機能、運動機能と精神機能、生活習慣、社会性について学習する。				
	12	幼児期の栄養2		到達目標:幼児期の栄養ケア・マネジメントを理解する。 学習内容:幼児期のやせ・肥満、脱水、偏食、食物アレルギーについて学習する。				
	13	学童期、思春期の栄養1		到達目標:学童期の生理的特徴を理解する。 学習内容:学童期の身体の特徴、生理機能、摂食機能、歯、運動機能と精神機能、生活習慣、社会性について学習する。				
	14	学童期、思春期の栄養2		到達目標:学童期の栄養ケア・マネジメントを理解する。 学習内容:学童期のやせ・肥満、脱水、歯、食物アレルギーについて学習する。				
	15	学童期、思春期の栄養3		到達目標:思春期の生理的特徴について理解する。 学習内容:思春期の特徴、第二性徴、生活習慣、栄養アセスメント、栄養関連疾患と栄養ケアについて学習する。				
成績評価の方法・基準		提出物・小テスト(30%) + 期末試験(70%) (オンライン対面共通)						
教科書		応用栄養学 改訂 第8版		国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所監修 渡邊令子・伊藤節子・滝本秀美編集			南江堂	
参考図書		日本人の食事摂取基準(2025年版)		菱田明、佐々木敏編著			第一出版	
教員からのメッセージ		単元が終了ごとに授業内で小テストを行います。小テストはコメントを付けて授業内で返却します。オンライン・対面授業形態変更に伴うシラバス修正がある場合は別途お知らせいたします。						

科目名 (科目番号)	()	教員名		学科等			履修年次	
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	
				授業形態		オフィスアワー		
授業概要								
目的・目標								
準備学習								
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
成績評価の方法・基準								
教科書								
参考図書								
教員からのメッセージ								

科目名 (科目番号)		教員名		学科等			履修年次	
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	
				授業形態		オフィスアワー		
授業概要								
目的・目標								
準備学習								
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容					
成績評価の方法・基準								
教科書								
参考図書								
教員からのメッセージ								